

軽トラック用 幌セット

幌セット KH-6

～ 三面巻上扉幕式 ～

保存【2501】

組立説明書



NAN-
CORPORATION 製造
発売元

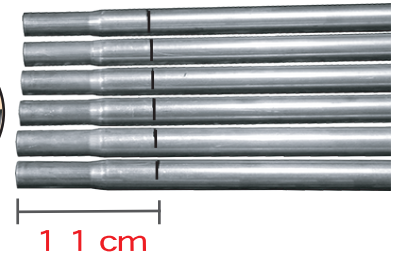
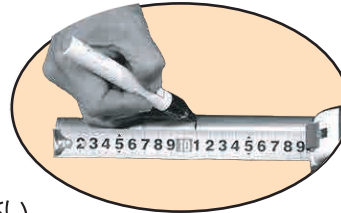
南榮工業株式会社



1 脚用パイプを準備します

- ②脚用パイプ 6 本に、各ジョイント (④⑤) を取り付けるための、**目印線**をつけておきます。(跡で取り付けます。)

※オス(先が細くなっている方)の先から、**11cm**を計り、マジック等で印を付けてください。



- ②脚用パイプ 6 本の、高さを調整します。

※軽トラのキャビンの高さ(キャビン後部、鳥居部)は、各メーカーにより違いがあるためです。

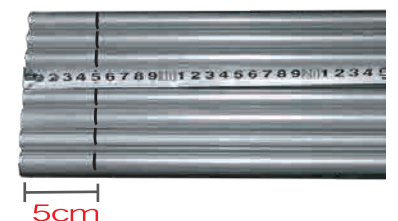
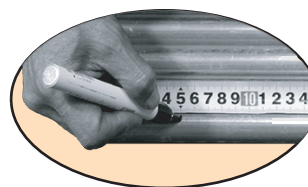
キャビン後部 鳥居部		脚高さ調整アジャスターの目安幅			※ 2014年12月新車販売比較		
			ダイハツ ハイゼット 約3.5cm		ホンダ アクティ 約0cm		スズキ キャリイ 約3.5cm
			スズキ キャリイ 約 3cm		日産 クリッパー 約 3cm		三菱 ミニキャブ 約4.5cm
			マツダ スクラム 約 3cm		トヨタ ピカサス 約3.5cm	目安幅ですので、各車に応じて、 設置後の最終調整が必要です。	

引き出し手順				
ドライバーなどで回すと アジャスターが引き出ます。	ナットを移動させます。	目安幅を計り、ナットを 仮締め(固定)します。	アジャスター調整完了。 (仮調整です)	

2 脚部を組み立てます

- ③横通し用パイプ 8 本に、各ジョイント (④⑤) 取り付け用の **目印線**をつけます。

※ 片側に、パイプ先から、**5cm**を計り、マジック等で印を付けてください。



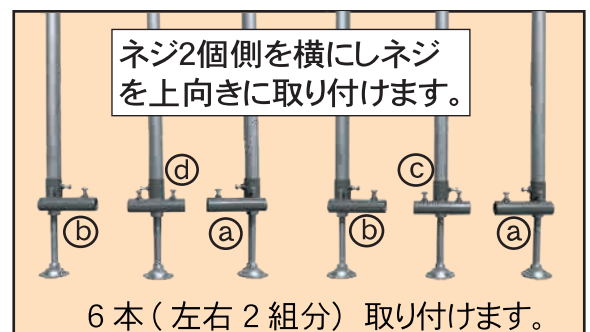
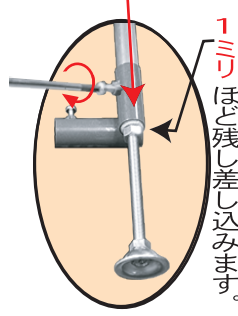
- ②脚用パイプ (調整済み) に、④T 型ジョイント (a) (b) (c) (d) を取り付けます。

※ 各ジョイントは、ネジが1個側を差し込みます。

※各 T 型ジョイントを
②脚用パイプ (調整済み)
に差し込んでいきます。

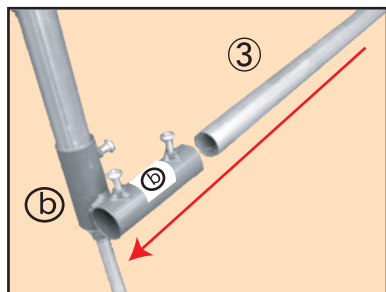
T 型ジョイントの位置決め後
ネジを締込み、固定します。

脚用パイプのオス
(先が細くなっている方から)
差し込みます。

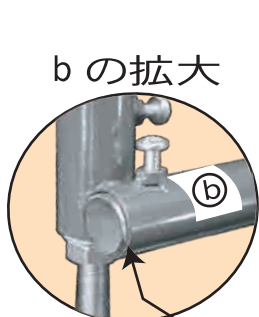


● ③横通しパイプ 2本を取り付けます(2組)。

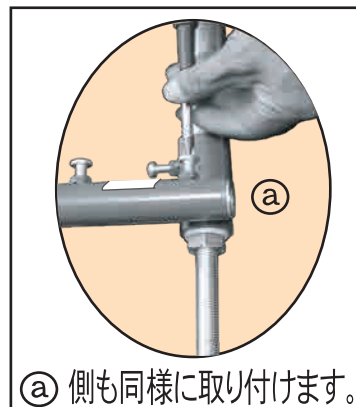
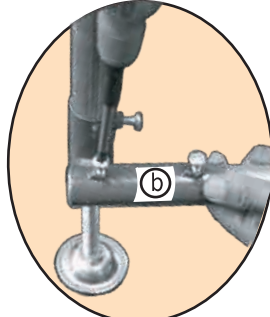
※ 両側の④T型ジョイント(① ②)への取り付けます。



③横通しパイプは、5cmの目印線が無い方を差し込みます。

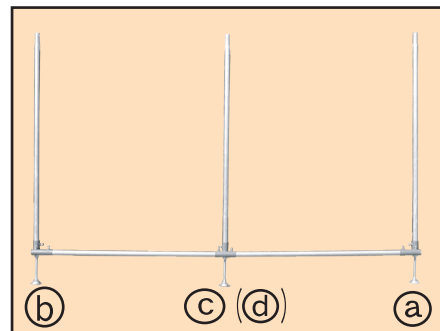
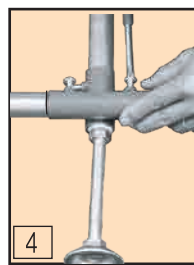
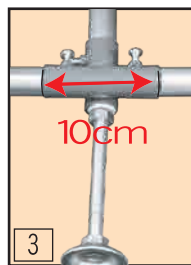
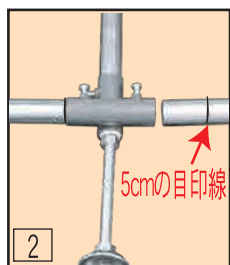
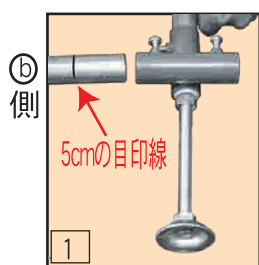


1 mm ほど出します。ネジを締め込み固定します。



①側も同様に取り付けます。

※ 中央の④T型ジョイント(③ ④)への取り付け方。



③横通しパイプは、②側 ④側 それぞれ5cmの目印線がある方を差し込み線に合わせます。

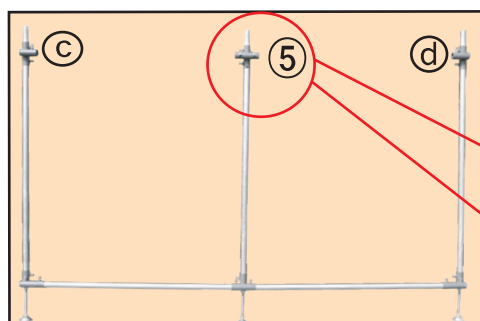
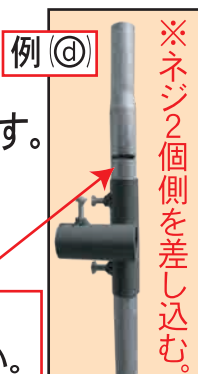
ネジを締め込み固定します。

3 アーチ用パイプを取り付けます その1

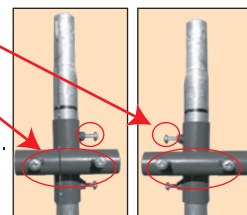
- 2で組み立てた脚部に、④T型ジョイント(③ ④)、⑤十字ジョイントを取り付けます。

※ ⑤十字ジョイントは、向きを入れ替え、この脚部を2組作ります。

※ 1で付けた目印線より下の位置で、各ジョイントを仮止めしてください。



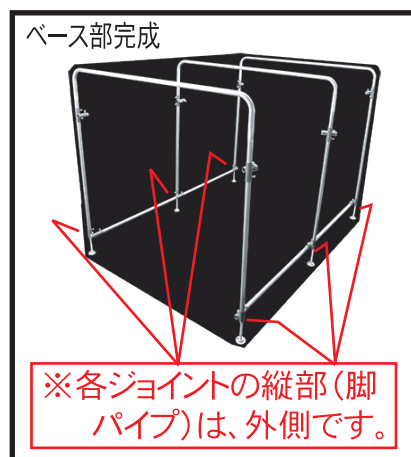
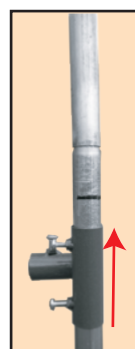
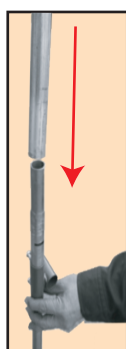
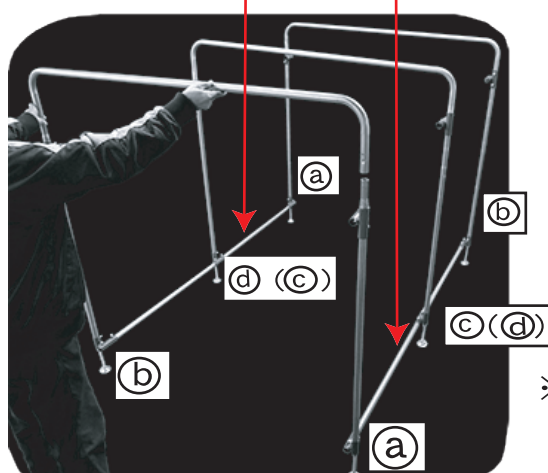
× 2組



※ ⑤十字ジョイントの向きを入れ替える際、ネジの方向に注意してください。

- 脚部に、①アーチパイプ 3本、取り付けます。

※ 横通しパイプは 内側になります。



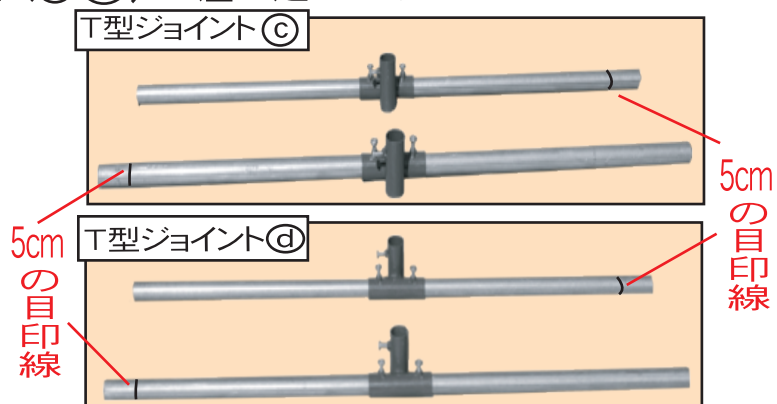
※各ジョイントの縦部(脚パイプ)は、外側です。

※ ①アーチパイプを、脚パイプにしっかり取り付け、各ジョイント(③ ⑤ ④)の下部を、目印線に合わせ、ネジを締め込み、仮止めしてください。

4

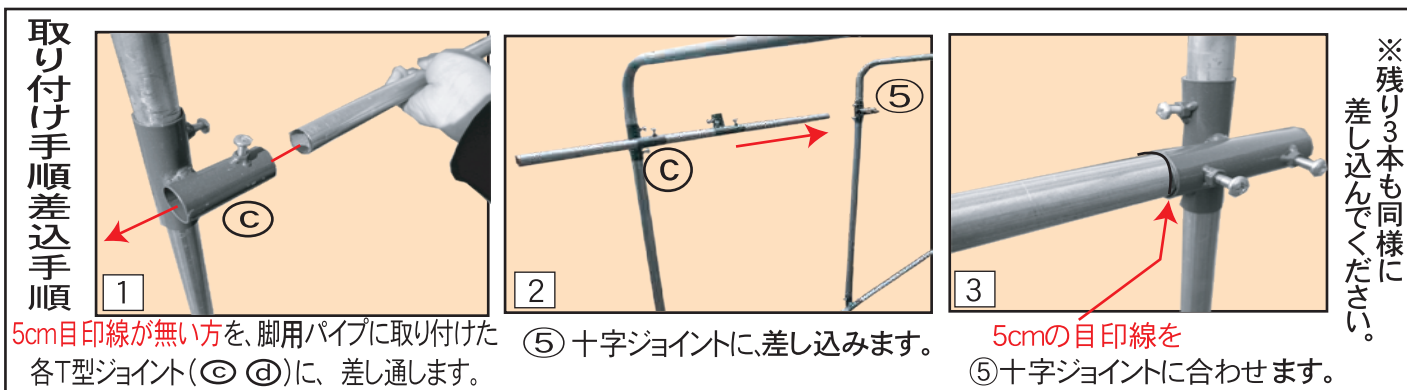
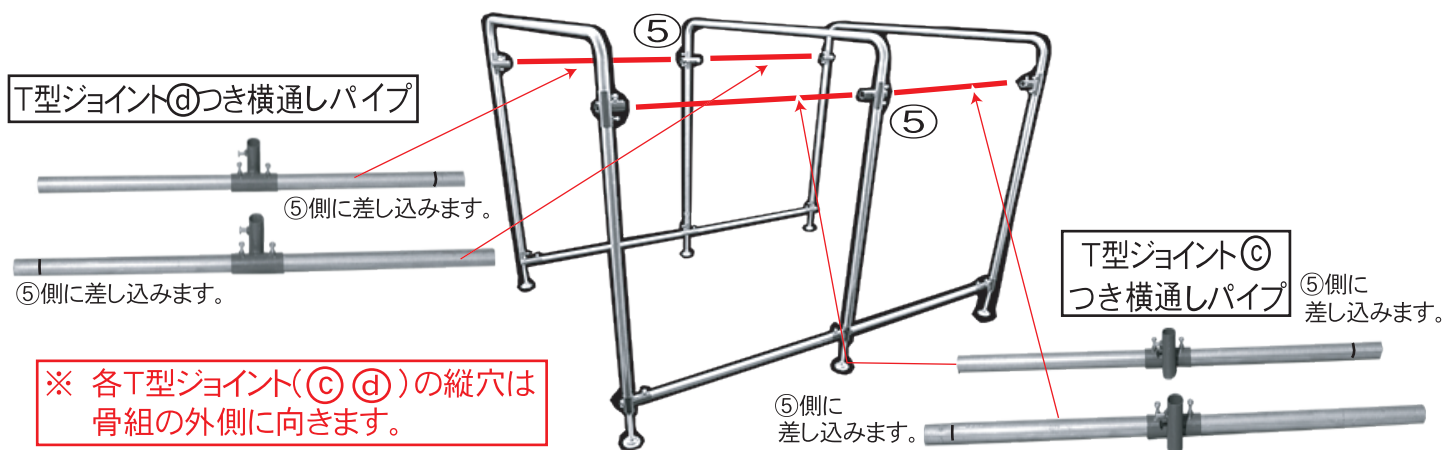
- ③横通し用パイプ 4本に、④T型ジョイント(c)(d)を差し込みます。

※ ③横通し用パイプを、**2** で付けた
5cmの印線がある方を左右に
置き(2組)、各T型ジョイント(㉔㉕)
を、通します。 ネジの締め込みは、
5 アーチパイプ取り付け その2
で行います。

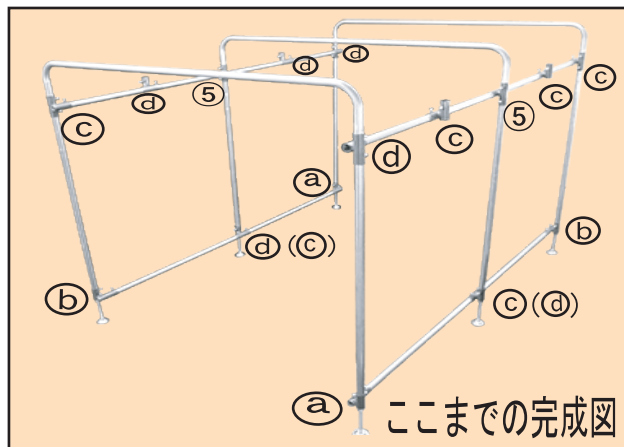
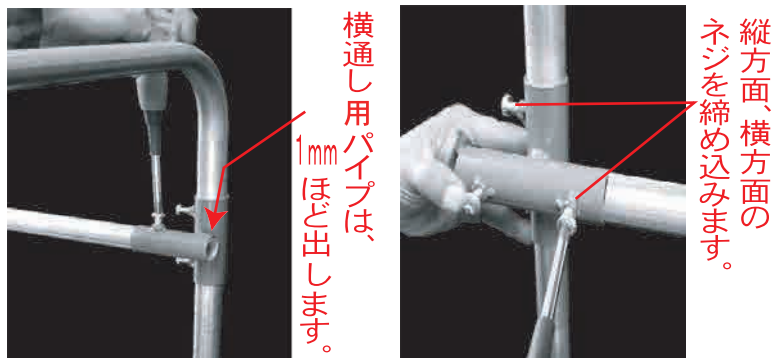


- **3** で組み立てた骨組に、ジョイントつき横通し用パイプを取り付けます。

※ 骨組に取り付けられた、前後のT型ジョイント(㉔ ㉕)に横通し用パイプを通し、**5cmの目印線がある方**を、㉖十字ジョイントに合わせ取り付けます。



※ 各ボルトを締め込み固定します。



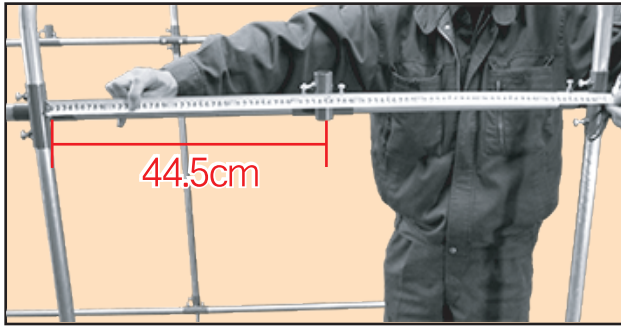
5

アーチ用パイプを取り付けます

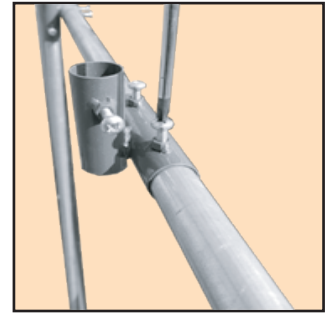
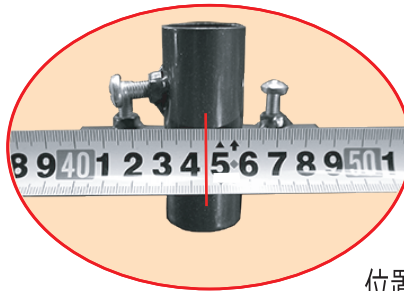
その2

● 残りの、①アーチパイプ 2本を取り付けます。

※ 中間のT型ジョイント(◎◎) 4箇所 の位置を決めます。



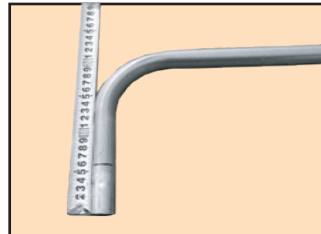
T型ジョイントの拡大図。



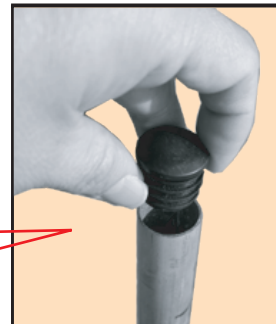
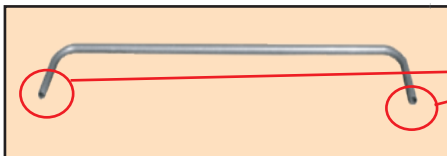
位置が決まった各T型ジョイントのネジを軽く締め込み、仮固定します。

⑤ 十字ジョイントの縦差込パイプの内側から、44.5cm 計り、そこが中心になります。

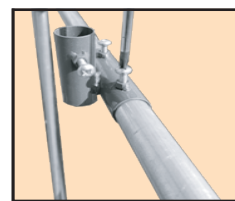
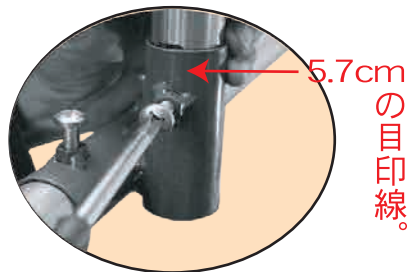
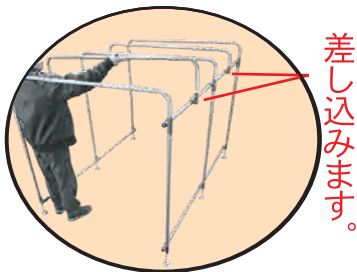
※ ①アーチ用パイプの差込部に、5.7cmの目印線を付けます。
(左右差込部 ×2本)



※ ①アーチ用パイプの差込部に⑥キャップを取り付けます。
(左右両サイド ×2本)

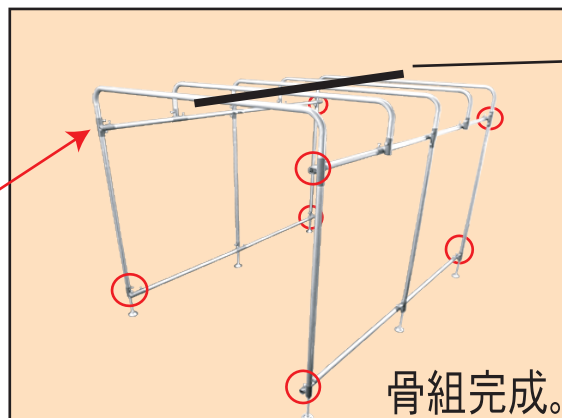
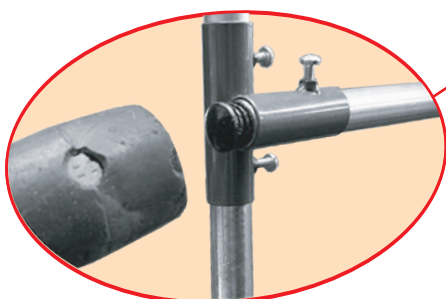


※ キャップが付いたアーチ用パイプを差し込み、5.7cmの目印線に合わせ、固定します。



アーチ用パイプ差込後、横通し取り付けネジを締め込んでください。

※ ⑥キャップを、8箇所、取り付けます。



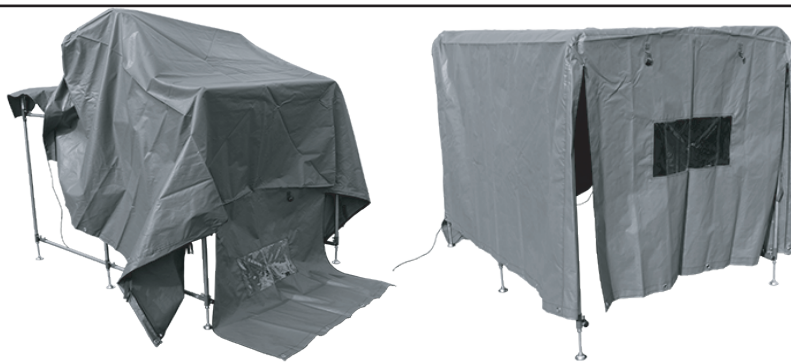
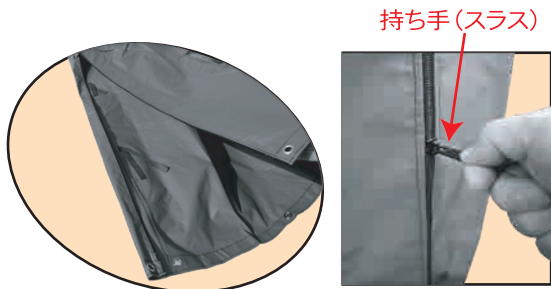
5本のアーチパイプは、同じ高さになります。

骨組完成後、左右平行確認をし、再度、各ジョイントのネジの締め込みをしてください。

6 骨組に幌天幕を被せます

幌画像が KH-5 の幌になりますが、共通作業になります。

※ ⑨幌天幕を、袋から取り出し広げます。
この時、幌（後ろ部）のファスナーを、
すべて、開けておきます。



※ ⑨幌天幕を、骨組に被せます。
（骨組に前後はありません。）

※ 小窓がある方が、
幌の後部になります。

※ 天幕を広げる際、地面を引きずり、傷つけないよう、注意してください。
ファスナーの開閉は、必ず、持ち手（スラス）を使用してください。

7 幌セットを、軽トラックに取り付けます

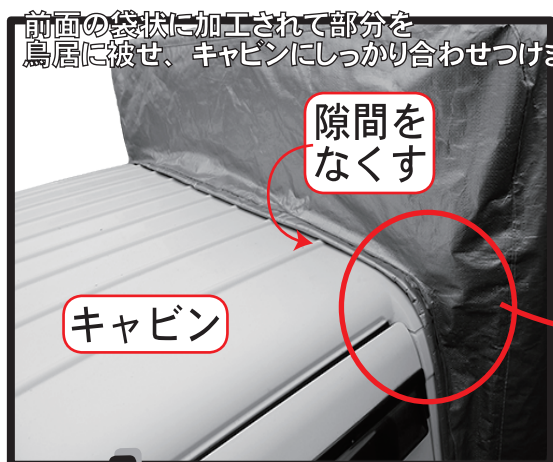
*幌画像が、KH-5 の幌になりますが、手順は同じになりますので、ご了承ください。

● 幌セットを、荷台に乗せます。



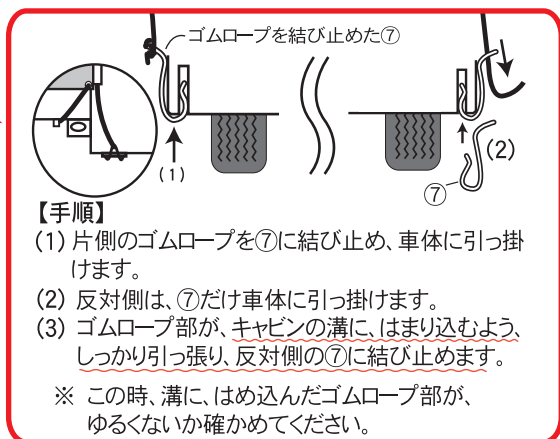
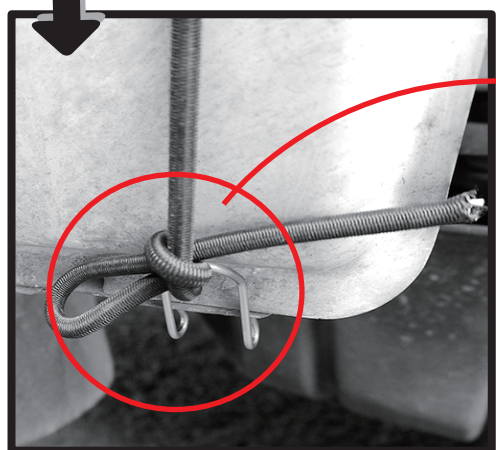
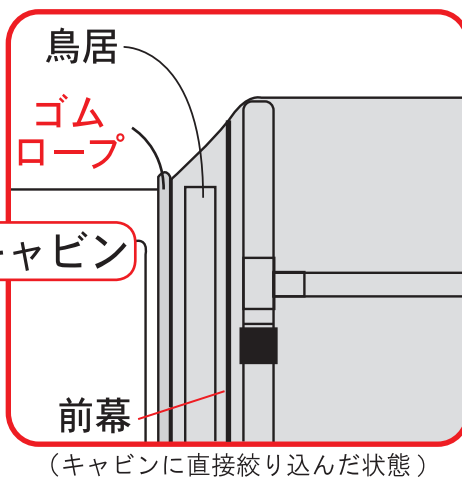
※ 幌の前幕は、荷台に垂らします。

前面の袋状に加工された部分を
鳥居に被せ、キャビンにしっかり合わせつけます。



前幕カブリ部を
キャビンに出来る
だけ隙間が出来ない
ように、キャビンの
溝に合わせます。

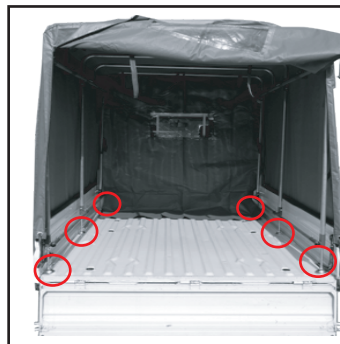
（車種により溝の
形状が異なります）



※ カブリ部に隙間ができたり、被りすぎた場合は、脚用パイプにあるアジャスターで、上下調整してください。

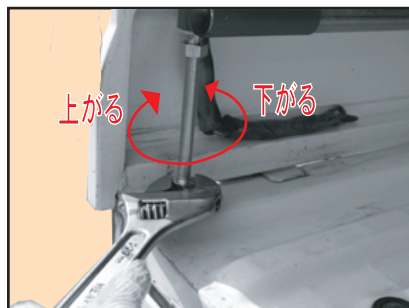
● 幌の高さ調整。

※ 脚アジャスター(6本)を最終調整します。各車の、一本一本の設置状況に応じて、高さの微調整をしてください。



脚アジャスター6箇所

各メーカー、年代により、荷台の形状等に違いがあります。現車の状況に合わせ、一本ずつの調整を、オススメです。



高さ調整は、アジャスター下ナットです。右回りで、幌セットが上がります。左回りで、幌セットが下がります。



アジャスター上ナットは、固定用になります。高さ調整の際は、緩めて作業してください。

※ 脚アジャスターの調整後は、上ナットを締め込み、しっかり固定してください。



8 幌セットを、軽トラックに固定します

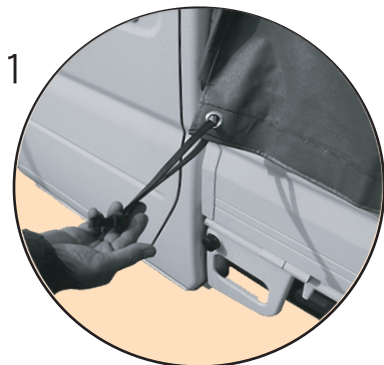
● ⑧固定用ロープで、幌セットの骨組を固定します(脚用パイプ 6本)。



各脚用パイプ 6本をしっかり、固定してください。

● ゴムバンドの取り付け方。

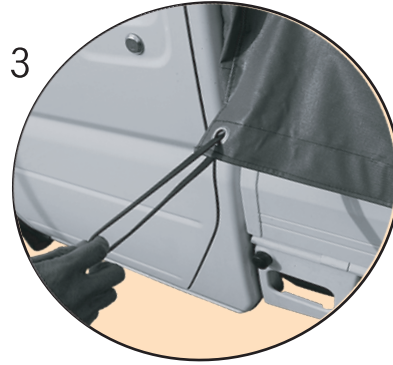
※ ⑩ゴムバンドを、幌幕のハトメ穴に通し、輪を作ります。



⑩ゴムバンドを、ハトメ穴に通し、結び付けます。



結びつけたゴムバンドを回します。



結び目が、ハトメの下に隠れます。
ゴムバンドが、引っ掛けやすくなります。

※ ハトメ穴すべてに、

⑩ゴムバンドを取り付けます。



※ 幌幕両側面のゴムバンドを、荷台フックに

引っ掛け、固定します。



後幕は、内部の取り付け作業を行いますので、空けたままで結構です。

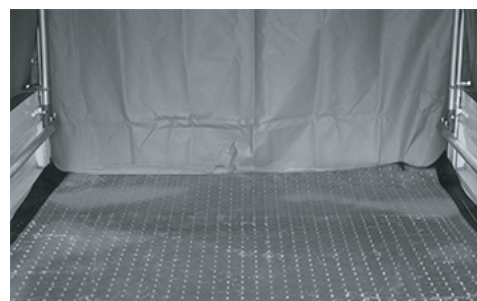
幌画像がKH-5の幌になりますが、共通作業になります。

● 幌内部(幕内部に付いている紐)を、骨組に取り付けます。



● 軽トラック用ゴムマットで固定します。

(軽トラック用ゴムマット(別売り)は、個別にご用意ください。)



※ 前幕の荷台に垂らした部分に、ゴムマットを被せます。

※ 前方から入ってくる雨水を、ゴムマットと荷台の間に流し込み幌内部を濡らしにくくする効果があります。

軽トラ幌セット KH-6



＊後幕の開閉部を巻き上げて 留めています＊



＊横幕の開閉部を巻き上げて 留めています＊



後ろ



キャビン後部の鳥居に
被せます。



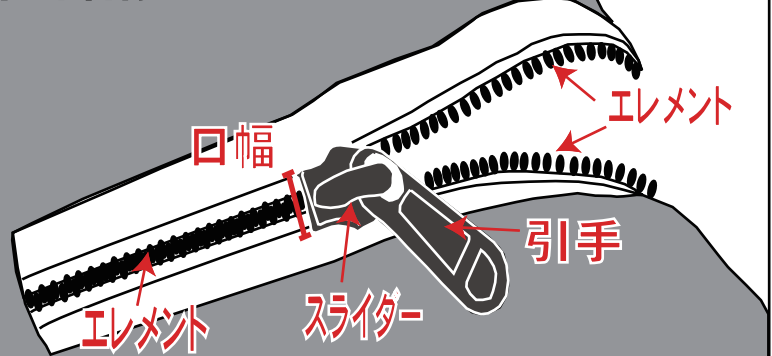
前

- ※ 高速走行(高速道路等)は危険ですので、お止めください。
- ※ 走行する際は幌天幕をしっかり、ゴムバンドで固定してください。幌天幕のバタつきは、シートの消耗の原因になります。また、走行中に、幌天幕が外れる恐れがあり、大変危険です。
- ※ 定期的に各箇所の、ボルト、ナット、ネジ等の緩みがないか、確認してください。

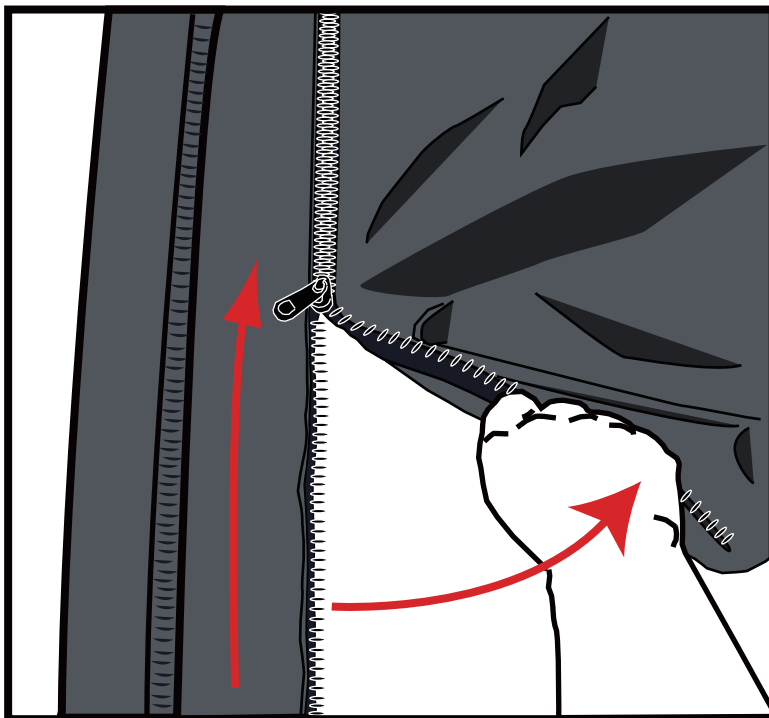
ファスナーの取扱いに

ファスナーの開閉につきましては必ず、引手を持ってスライダーを動かして行ってください。

各部名称



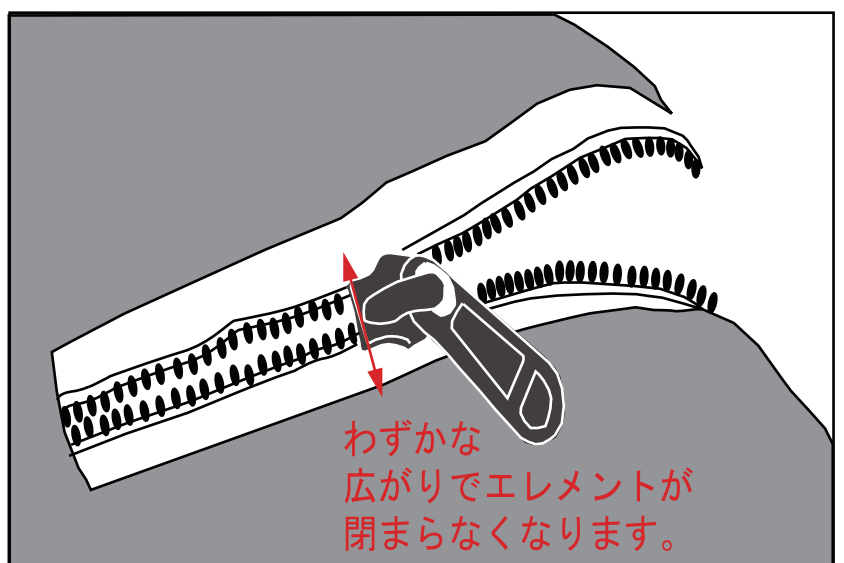
ファスナー開閉でおこなってはいけない行為



幕生地を持ち、引っ張るように広げて、ファスナーを移動する行為は、スライダー部に大きな負担をあたえます。

スライダーは金属部品ですが、スライダー横部分に大きな負担がかかり、結果、口幅が広がっていきます。また、分解のおそれもあります。

スライダーの口幅が広くなってしまうと、スライダーによる左右エレメントの押さえが効かなくなります。エレメントがかみ合わなくなり、ファスナーが閉まりきらない状態です。



※ファスナー周辺の、小さいゴミ、泥等の付着はお気をつけください。

※金属スライダー部は、定期的な油さしをオススメします。